

セメント工場リハビリ事業



EAPCアティ・リバー工場

借款概要

承諾額/実行額	7,674百万円/7,489百万円
借款契約調印	1990年3月
借款契約条件	金利2.5%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1997年7月

事業概要

既存のアティ・リバー工場のセメント生産設備を改修・更新することによりセメント生産増を図り、もって増大する同国のセメント需要に対処するもの。

評価結果

同国では1997～98年にかけて同国を襲ったエルニーニョによる自然災害に端を発して国内経済が停滞に陥り、その結果セメント需要が落ち込んだことから、本事業では生産計画の見直しが行われた。この見直し計画を基準とすると、2000年には計画値440千トン/年に対して実績は413千トン/年と9割以上達成している。稼働率については計画値76.0%に対して実績は67.9%と9割近く実現している。電力消費原単位はリハビリ前よりも悪化しているが、熱焼効率は改善している。セメントの売上は4年間で60%近く伸びており、売上営業利益率も大きく伸びている。

設備操作及び維持管理に係る技術面では特段の問題はない。ただし、原材料貯蔵施設の一部が地盤沈下の影響を受けており、改修が必要となっている。実施機関であるEAPCは、売上が順調なものの、人件費の上昇や為替差損によりこの2年間損失を計上している。EAPCは、今後5～6年かけて累積損失を解消し、財務体質の健全化を図る計画である。